



しらすぎ保育園
VOL51 NO.4
(通巻 603号)

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

★7月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	沐浴気持ちいいな	沐浴やプールで汗を流し、さっぱり爽快。暑い季節を気持ちよくすごす。
1才児	ゴシゴシ手洗い	外遊びや排泄後、食事前など一日に何度も洗う手。石鹸を泡立てゴシゴシ。手順を覚え、手を洗う習慣をしっかりと身に付ける。
2才児	お箸にチャレンジ	まずエジソンのお箸や練習キットを使い、正しいお箸の持ち方を覚える。じっくり練習し少しずつ食べ物をつまめるようになる。
3才児	水遊びをダイナミックに！	泥水や色水など夏ならではの水遊びをダイナミックに満喫。思いっきり遊んだ後は、ゆっくり休憩。
4才児	やってみよう	正しい指使いでド・レ・ミの単音が弾けるようになったピアノカ。次は“チューリップ”の曲にチャレンジ。
5才児	プールあそび	ビー玉拾いやリバープールなど楽しい遊びがいっぱいのプール。バタ足で6m泳ぐ事を目標にそれぞれがチャレンジする夏。



6月に異年齢交流で植えたトマトときゅうりが大きくなりました

★7月のプラン

- 6日(金) 誕生会(七夕)
 - 12日(木) しらすぎまつり
 - 25日(水) しらすぎファミリーコンサート
- ≪18日(水)カンガルー広場(園庭開放)≫

しらすぎまつり

たんぼぼ組担任 蔵元 南
7月12日(木)にしらすぎまつりを開催します。毎年、保護者のみなさんにお手伝い頂き、大変盛り上がるしらすぎまつり。金魚すくいやワニワニパニック、的当てなどの遊びがあり、0才児から5才児までが楽しめます。ゲーム以外にも、ゆり組がソーラン節を踊ったり、ばら組がおみこしを担いだり…3才児から5才児は浴衣や甚平を着ての参加もOK! 盆踊りもあり、保育園中が夏まつりの雰囲気がいっぱい。今年も盛り上がること間違いなしです!

子どもによくみられる症状 その2

“嘔吐について”

囑託医 宮崎医院小児科 宮崎裕美

◎今回は吐いたときのホームケアと医療機関受診の目安についてお話しします。

吐いたときのホームケア

1. 横向きにねかせます

吐いたものがのどにつまらないように、上体を少し起こして、横向きにねかせましょう。

2. 吐いた後は口の中をきれいに

うがいができる子どもはうがいをさせましょう。

できない場合は、濡らしたガーゼで口の中や口の周りを軽くふきましょう。

3. 吐気が強いときや吐いた直後は食事や水分を控えましょう。

4. 吐き気が落ち着いたら水分と塩分補給しましょう

頻回の嘔吐や下痢があると脱水症になりやすいため、経口補水液(OS-1等)による脱水予防を行います。



医療機関受診の目安

嘔吐があれば医療機関を受診してください。

以下一つでも当てはまるときは急を要するので、診察時間外でも早めに受診を。

激しく泣いたかと思うと、急に泣き止んだり、さらに激しく泣いたりする状態が続く

目がとろんとして、ぐったりしている 顔色が悪い

苦しそうな呼吸をしている 噴水のように吐く

半日程度おしっこがでない 吐く前にお腹や頭を打った

頭やお腹を激しく痛がる 吐いたものに赤いものや緑色のものが混ざっている



ゆり組親子の日



奈渚ちゃんのおかあさん 角野奈美さん

担任 森本朋子

6月23日(土)に年長児ゆり組だけの行事「親子の日」がありました。この日のために練習した包丁を使っての野菜切りを見てもらったり、保育園が「世界の国々」に装いを変えてゲームを行ったりしました。子どもたちはもちろん、保護者の方が童心に返り、大笑いしたり必死にゲームに参加したりする姿が印象的でした。この日のためにお忙しい中、親子で一緒に作ってもらった「ポシェット」をみんながうれしそうに見せてくれる姿が本当にかわいかったです。年長児だけの特別な行事は親子で楽しい一日になりました。

先日、娘が楽しみにしていた親子の日と一緒に参加させていただきました。準備の時から、材料を買に行ったりさせて頂き楽しみがどんどんふくれあがっていったように感じます。当日は、カレーを作ったり、世界旅行に行ったり、ゲームをしたりと親子で濃厚な楽しい時間を過ごすことが出来ました。憧れのゆり組さん、でもまだまだ甘えたい! そんな娘の気持ちにぴったりの行事でした。ありがとうございました。

(編集後記)

保育園では、七夕までの一週間、園庭や玄関に色とりどりに飾られた笹が立ちます。願い事を書いた短冊や子どもたちが作った飾りを各クラス1本ずつの笹に飾り付けます。笹は毎年卒園生の保護者の方が好意で届けて下さっています。本物の笹を見ることが少なくなった今、子どもたちにも貴重な経験をさせることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今年は織姫さまと彦星さまが会えますように。そして、みんなの願いが天に届きますように。(小田嶋)